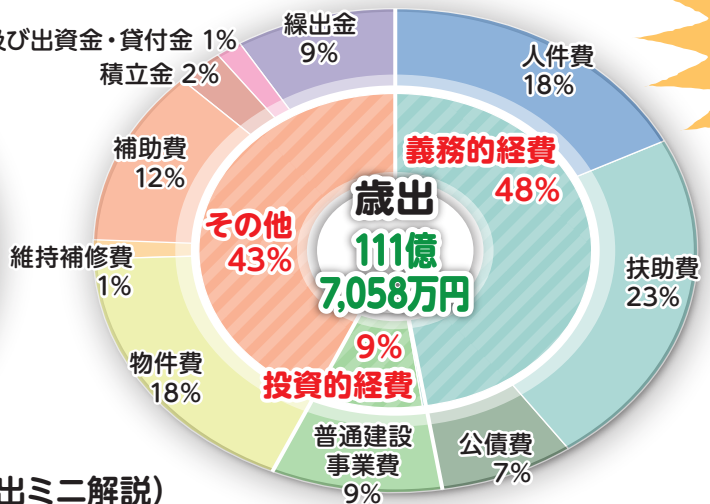
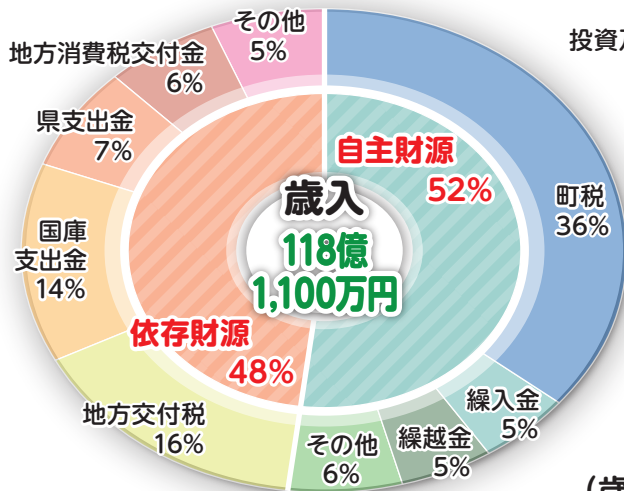


まちの家計簿

令和
予



(歳出ミニ解説)

義務的経費：人件費、扶助費などの支出が義務づけられ削減することが困難な経費のこと。
類似の物件費と合わせると66%になる。
→自由に使える経費が少ない。

一般会計の予算額を、
1年間の家計(年収492万円)に
置き換えてみました

アグピー家の家計簿

収入項目 (代表する歳入項目)	令和6年度 (万円)	増 減	前年
基本給与 (町税)	177	↓	178
パート収入 (諸収入)	30	←	30
貯金の引出し (繰入金)	26	↑	12
昨年の繰越し (繰越金)	23	↑	21
親からの援助 (地方交付税)	129	↑	112
親からの特別援助 (国庫支出金)	100	↑	88
銀行からの借入れ (町債)	5	↓	13
友人からのご祝儀 (寄附金)	2	←	2
合 計 (万円)	492	↑	456

(令和6年度の値は決算額を2400で割算した値)

令和6年度 決算

支出項目 (代表する歳出項目)	令和6年度 (万円)	増 減	前年
食費 (人件費)	82	↑	74
医療費 (扶助費)	106	↑	92
水道光熱費、日用品の購入 (物件費)	82	↑	78
学費などの仕送り (補助費・繰出金)	98	↑	94
家の増改築 (建設事業費、災害復旧費)	43	↑	37
家電・車・家の補修 (維持補修費)	3	←	3
投資 (投資・出資・貸付金)	6	↓	7
ローン返済 (公債費)	34	↓	35
貯金など (積立金)	11	↓	12
合 計 (万円)	465	↑	432

収入

- ①給料を上げてもらう
- ②親からの援助を増やす

親の援助



支出

- ①今の生活を守るための費用が多い
- ②将来への投資が限られる

日々の暮らしを支える支出



黒字27万円。アグピー家は、物価高を受けても、収入の確保に努めた。
毎日の生活を支える項目には、きちんと支出をして、家族を守った。